

宮城県議会議長 中山耕一殿

2016年9月28日

日本共産党県会議員団

団長 遠藤いく子
三浦 一敏
天下みゆき
福島かずえ
中嶋 廉
内藤 隆司
角野 達也
大内 真理

平成25年、中山耕一氏がパソコンとデジカメを購入し、二分の一按分で政務活動費を当てた問題について、添付された領収書が政務活動費とは全く関係のないものであったことが明らかになりました。議長自身もその点を認められ「領収書の取り違え」であったと釈明され、返還の手続きに入るとも聞いています。

なぜ健康器具の領収書を再発行させたのか、購入したパソコンとデジカメの領収書紛失の疑問、平成21年から22年、23年、25年と連続してパソコンを購入し、さらに26年に33台全員分購入した問題など疑問が噴出しています。

いま、政務活動費を巡っては、不適切な活用やごまかしなどが全国的にも厳しい批判を浴びています。議会を構成する者として、この問題は議長職のみならず議員としての出处進退にもかかわる重大な問題であり、見過ごすわけにはいきません。

県議会と議員に対する県民の信頼を回復してゆくために、以下の点を申し入れます。

- 1) 今回の一連の経過について、早急にご説明いただくこと。
- 2) その際、説明を裏付ける書類を合わせてご呈示いただくこと

以上